

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成25年4月26日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105313
法人名	社会福祉法人 吉田向陽会
事業所名	グループホーム むれが岡風車の宿
所在地	鹿児島市牟礼岡1丁目3番7号 (電話) 099-294-7007
自己評価作成日	平成25年2月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- 運営推進委員のメンバーがすべて校区社協の理事・民生委員であることから、地域との連携、密着が十分に図られている。
- 法人の母体が保育園であることから、乳幼児との交流が随時はかれ、チャイルドセラピーの効果が出ている。
- 介護スタッフの殆んどが地域在住であるので、利用者となじみの関係ができています。

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島県鹿児島市真砂町54-15
訪問調査日	平成25年3月14日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○鹿児島市郊外の住宅地に民家を改造して設置されており、全体的に家庭的な雰囲気漂っている施設である。同法人の保育所が隣接し、近くには小学校、学童保育、地域のコミュニセンター等があり、日常的に子供たちの歌声や賑やかな声が聞こえ、生活感や季節感に満たされている。

○入所者のほとんどが同地区の出身者であり、職員も大半が近辺に居住しているため、家族や友人知人の面会や野菜等の差し入れが日常的にあり、これまでの居宅生活の延長線のような感覚で安心した生活が営まれている。地域との密接な交流が重要と捉えており、地域の行事等に積極的に参加して、馴染みの人や場との継続に努めている。特に保育所の児童との週1回の交流は長年にわたり継続されていて、利用者及び児童共に家族の様に語り合い、抵抗なく触れ合ったり抱き合えるような関係性が構築され、心身の安定に繋がっている。

○管理者は、日頃より話しやすい雰囲気づくりを心がけ、職員の意見や提案を会議や日常の業務の中で、また必要ときには個別面談を実施して積極的に聞き取り、それらを職員全体で話し合って運営やサービスの質の向上に反映させている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員は就業時に理念を唱えて自分達の使命を絶えず確認している。	運営理念に沿って、利用者がその人らしく穏やかに暮らせるように、利用者寄り添うケアを目指して日々のケアに取り組んでいる。「運営理念」に加え「介護理念」を作り玄関に掲示すると共に、毎日のミーティング時の唱和やスタッフ会議での研修で理解と共有に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	介護スタッフのほとんどが地域居住者であり、利用者は地域の各種の情報に接することができる。	町内会に加入しており、運動会や夏祭り等地域の行事へ積極的に参加して交流を図っている。隣接の保育所の児童との週1回の親密な交流や、散歩や買い物に日常的に出かけて地域の人と挨拶や会話がなされている。また友人の面会や近隣の人から野菜等の差し入れもあり利用者の楽しみになっている	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	法人並びに事業所の職員は地域の夏まつりや敬老会にも積極的に参加している。また、校区消防分団の行事にも参加し、安心安全に役立っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議のメンバーは、全員校区社協並びに校区公民館の役員であり、利用者の生活状態は周知している方々である。それらの方々に事業所での活動を報告することで、家庭状況や生活歴の情報を頂き、スタッフがどのようにケアしていけばよいかのアドバイスをもらっている。	会議は利用者、家族、民生委員、行政職員、老人クラブ会長、公民館長、保育所園長、消防団、協力医療機関の医師、住民など多くの参加があり定期的に開催されている。利用者のケアや運営に関する意見交換が活発に行われ、日々のサービスの向上に活かされている。また地域の情報交換や防災に関する助言を得られるなど近隣との連携を深める会議になっている	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	市介護保険課、高齢者福祉課に定期的に訪問し、指導・助言を受けている。	市担当者には、定期的に訪問や電話でケアや運営に関する指導助言を受けると共に、介護保険の見直しや緊急時には特に密に連携をとって、サービスの向上を図っている。		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	ご家族と相談しながら、拘束が必要な場合はスタッフ会議で話し合い、期間、時間帯に注意しながら行っている。	「身体拘束排除マニュアル」を作成し、毎月開催のスタッフ会議で具体例を出しながら研修を行い理解への取り組みとケアへの反映に努めている。また、日々のケアの中で言葉づかいや安全な見守り等に十分配慮して、自由な生活が営めるよう支援している。		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	スタッフ会議で絶えず申し合わせをしている。			
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	事業内研修や、外部の成年後見制度の研修に参加している。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所前相談を十分に行い、納得していただいた上で契約を行っている。 退居の際も、退居相談を行い、十分に説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者家族から直接話していただける環境づくりをして、できるかぎり当施設へきていただけるようにし、コミュニケーションをとるように配慮している。 運営推進会議に利用者家族の出席をお願いし、運営に反映するようしている。	利用者の思いや意見は、日々の会話や表情・動作で把握に努めている。家族とは来訪時や電話での対話により把握に努めると共に、意見箱を設置して気軽に意見や要望等を出して貰えるように工夫している。出された意見や要望等は連絡ノートで職員が共有し、速やかに検討して対応すると共に、結果は利用者や家族に直接又は電話で伝えている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月行われるスタッフ会議には、代表者や管理者は必ず出席し、スタッフの意見を聞き、運営に反映している。	管理者はミーティングやスタッフ会議で意見や提案等を聞き取ると共に、常に話しやすい雰囲気づくりに配慮して日常のケアの中での対話や個別面談により把握に努めている。出された意見や提案等は業務の改善やサービス向上につなげるように取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格手当、入浴手当、調整手当、ベースアップ等を通して職員のやりがいを高めている。 また、本人や家族（子ども等）の体調がすぐれないときは他の職員と交代できるよう配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修に参加した者は、研修報告をスタッフ会議の場で行い、他のスタッフに伝達して、内部研修を充実させ、スキルアップをはかっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>吉田地区介護保険事業所の連絡会やケアマネージャーの交流会に参加し、地域の情報交換や勉強会に参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	病院や施設や居宅のケアマネジャーの情報だけでなく、直接ご本人に面会して、本人の生活に対する意向や、今までの生活歴を伺い、ケアに役立てている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約前から、施設への訪問やご家族へのお電話等、当施設の方針やご自宅（居宅）のご様子や今までのケアの内容等を十分に話し合えるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者本人とご家族が今一番困っていらっしゃることを、望んでいらっしゃることをしっかり聞きとり、対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の身体能力に合わせて、調理、掃除等一緒に行い自立支援へつなげている。また、同じ屋根の下で暮らす家族のように接するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	定期的に家族へ各利用者の状況をお知らせしている。 病院受診に同行されるご家族には、昼食を施設で利用者と一緒に食べて頂いている。 地域の行事積極的に参加し、地域の一員としてのつながりを大事にしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の運動会に出席し、魚釣り競争に参加した。 地域の文化祭に作品を出品し、見学に行った。 いつでも面会に来られる様、また電話でお話しが出来る様に支援している。	入所前の聞き取りや面会に来訪された時に、馴染みの人や場所等の把握を行い、アセスメントや支援経過記録に記載し、情報を共有して支援に活用している。馴染みの美容室や商店へは職員が同行し、電話による友人との交流の支援や面会者とゆっくり話せるような場所の配慮等を行い、関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お茶の時間に共通話題（昔話等）を提供し、皆でお話ができるように心がけている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了後も、電話による様子伺いや、施設や病院に直接お見舞いに行くなどしている。 御家族には、「風車だより」を送付している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者本人や家族から意向を伺い、達成に向けたケアに努めている。 ケアプランに活かし、スタッフ全員の共通認識のもと、ケアを行っている。	利用開始時に本人や家族からの思いや意向を聞き取り、また入所後は日々の会話や表情、行動からくみ取るように努めている。特に散歩等での外出時に、普段よりも本音を話す傾向がみられるので、気持ちをくみ取り、ゆっくり聞くようにしている。これらは支援経過記録、アセスメント、連絡ノートに記載して情報を共有し、対応を検討して利用者本位の支援につなげるよう取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、ご本人やご家族、病院関係者、民生委員等から伺い、今までの暮らし方の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	居室やリビングでの生活の中や、入浴時等の支援の中で心身状態や有する能力を把握している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプラン作成時のサービス担当者会議や、毎月のスタッフ会議で、利用者の現状を報告し、スタッフの意見等を伺い、ケアプランに活かしている。利用者の中で、必要な方の課題について話し合い、毎月1回モニタリングを行って支援経過に達成状況を記録している。必要に応じて、ケアプランの見直しや中間見直しを行っている。	本人や家族の思いや要望をくみ取り、併せて主治医の意見やモニタリング等を反映した利用者本位の介護計画を作成している。また状況の変動に対しては随時計画を見直し、現状に即した計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	支援経過記録やホーム日誌、健康チェック表等に個別の生活の記録を行っている。緊急に必要な連絡事項については、連絡ノートにより連絡している。夜勤者・日勤者の引き継ぎ時に伝号している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族に意見を伺い、スタッフで支援出来る事を話し合い、実践できる様に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	保育園児との交流や美容ボランティアの訪問依頼、夏まつりや行事に参加して、地域の一員として、暮らしの楽しみを見つける様努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の同意により、往診や訪問診療、定期受診、緊急時の受診、眼科・皮膚科整形外科などにも同行受診を行っている。受診の際は、利用者、家族の意向を大切にしている。協力医は認知症への理解も深く、運営推進会議への参加もあり、訪問診療の際、状況を伝えやすい。	病状やかかりつけ医に関しては利用前に聞き取りで把握し、希望する医療機関での治療を継続している。本人の意向で、職員が同行しての通院又は訪問診療で治療を継続している。体調はバイタルチェック表で細かに把握しており、家族の了解のうえで、かかりつけ医への情報の伝達にも活用している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月に4回、同法人の看護師が出勤している。 利用者の健康状態を報告し、健康管理及び、通常では出来ない医療行為に務めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	かかりつけ医の判断において、入院となった場合は、度々訪問して安心して頂き、情報交換している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	御家族には、当ホームで出来ることを早い時期から十分にお話して、かかりつけ医の指示を仰いで支援している。主治医より、看護職員が常駐していないホームにおいてできることの限界をご家族にお知らせしている。ご本人やご家族の希望があれば、終末期まで受け入れたい方針で事業所のターミナル指針を作成している。	重度化した場合や終末期については「ターミナルケアの指針」を作成しており、利用開始時に説明して理解を得ている。実際に重度化した時に再度詳しく説明して意向を確認し、希望に沿った対応の支援を家族、医師と連携して行う体制を築いている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	何が起きているかを冷静に見極めて対応に努める。 緊急マニュアルに沿って、通常訓練を行っている。蘇生訓練、AED訓練等を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災報知機と消防への自動通報システムを設置していて、定期的に消防訓練を行っている。スタッフの多くは近くに住んでおり、ご近所や地域の方々にもお願いしている。</p>	<p>年2回災害時の避難訓練を、消防団、地域住民の協力を得て実施している。利用者の生活エリアは全て1階にあり、避難経路も複数のパターンを想定して確保している。また避難場所として隣接の保育所や地区住民宅の協力が得られることになっている。災害発生時の食料、飲料水、防寒用具等は法人全体で体制を整えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の生活歴を知り、理解し、安心して過ごせる様、一人一人の人格を尊重した言葉掛けや対応に努めている。	利用者の誇りやプライドを損ねることのないよう「ケアのポリシー」を作成し、それに基づいてミーティングやスタッフ会議時に意識づけし、併せて日々のケアやミーティングのなかで職員が喚起し合って丁寧な語りかけや対応に努めている。排泄や入浴時のケアに際してはもとより、施設が発行する「風車だより」への登載も事前に同意を得ている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者との対話の中で、本人の希望や思いに添ったケアへの取り組み、自己決定を促す言葉掛けに努めている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	体操やレクリエーション等の参加は強制せず、本人の意思に合わせたケアに努めている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援	散髪や洗顔、お化粧をいつでも出来る様に手身近に準備している。外出の出来ない方は美容室に訪問利用依頼し、また希望があれば美容室にお連れしている			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	バイキング料理を1回行った。好評につき、定期的に行う予定である。外出時は弁当を作って持参したが、今後はお重に詰めて持っていき、好きなものを食べて頂く。誕生日は、その方の好きなものを作る。野菜の下ごしらえや味つけを確認して頂き、一緒に調理している。利用者の出来る範囲で食器の片づけや下膳をして頂く。	利用者の好みを日常会話の中で把握し季節感のある献立や味付け等に反映させて、楽しく食事ができるよう努めている。弁当を持って花見に出かけたりソープ流しやレストランでの外食など利用者の意向を聞きながら楽しみにつながる工夫をしている。野菜の下ごしらえ、味見、配膳の準備や下膳等、利用者の出来る範囲で一緒に楽しく行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎回の食事量の確認を行い、不足しがちな方には補食を摂って頂く工夫をしている。9時、10時、14時、15時と水分補給して頂き、9時と14時には好みの飲み物を準備している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者一人一人の口腔状態を知り、毎食後の義歯洗浄、うがい、舌ブラッシングに努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを知り、それに合わせたトイレ誘導を行い、トイレでの排泄が習慣化されている。	排泄チェック表で利用者毎にパターンを把握し、体調を考慮しながらケアに努めている。トイレへの誘導や声掛けは、プライバシーや尊厳を損ねることのないよう十分配慮して自立に向けた支援に努め、それらは支援経過記録等に記録している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の排便チェックを利用者からの聞き取りや、スタッフの誘導時の記録により、状態に応じて緩下剤服用を主治医の指示の下行っている。食事に食物繊維を多く取り入れたり、十分な水分摂取、外出、室内歩行等の運動に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴の曜日や順番は、利用者の都合や要望を取り入れている。可能な限り浴室外からの見守り時間を作り、ゆっくり入浴して頂いている。	利用者の健康状態に配慮し状態によっては足浴や清拭への変更を取り入れながら、週3日の入浴を基本としている。時間帯や好みについては利用者の希望をくみ取りゆっくりとした気分で入浴を楽しめるような支援に努めている。入浴を拒否する場合は、無理強いすることなく、時間や日程の変更、タイミングの良い声掛けなど工夫して本人の意欲を待つようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自由に休息される様に支援している。食事等の時間もその人に合わせて、遅れて食事をお出ししている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者の体調の変化や訴えを主治医と相談し、調整を行っている。服薬の変更については、その都度連絡ノートにて、スタッフ間で確認出来る様努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	週1回の保育園交流において、子ども達へのプレゼント作りを一緒に行う。庭の手入れを行う等、利用者の日々の生活の中から喜びや楽しみを見出し、スタッフはそれに応じたケアを行うよう努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者の要望に応じて、近所への散歩や買い物と一緒に出かけられる機会を作っている。歩行の困難な利用者も車椅子を利用し、屋外へ出かけられるよう支援している。地域での行事の参加や家族との外出等、連絡を取り合い、計画を立てての支援を行っている。	利用者の健康状態を配慮しながら利用者の希望に応じて、日常的に散歩、買い物、美容室、ドライブ等を職員が同行して外出を楽しめるように取り組んでいる。歩行困難者には車椅子を利用し、地域の行事や催し物にも積極的に参加している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	利用者からの要望や希望に沿って、買い物される際には必要な金額をその時にお渡しするようにしている。必要に応じて使用できるよう一定額はお預かりしている。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	利用者からの希望に合わせて、本人が電話をかけたり、ご家族からの電話を受けご本人にとりついたり、自由に使用できるようにしている。いつでも手紙が出せるよう切手を用意しており、投函時もスタッフが同行し支援している。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	家庭的な雰囲気の中で、適度な室温、湿度を保てるよう、温度計・湿度計を設置し環境把握に努めている。自然な光や音を取り入れ、心地よく過ごせるよう努めている。居間や廊下に掲示を行い、生活感が感じられるよう工夫し、常に室内においての清潔保持に努めている。	リビングはゆったりとしたスペースがあり明るく、食事用のテーブルの他にソファが配置しており、好みの場所で自由に寛ろげるように工夫している。施設の随所に季節感のある手作りの作品や花が飾られて、和やかな雰囲気がつくられている。併せて、適度な室温や湿度を調節し、気持ち良く過ごせる環境への配慮がなされている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	居間やソファでゆっくり過ごされたり、気の合う利用者同士が気兼ねなく過ごせるよう、スタッフは少し離れて静かに見守りを行うよう雰囲気作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の思い出の写真や、思い出のある物を、お好きな場所に配置したり、利用者や相談しながら室内の清掃を行う等しながら、心地良い環境作りを行っている。</p>	<p>利用者の状態によりベッドまたは畳部屋の居室になっており、家から持ってきた家具、電気製品、神棚等を好みに応じて配置し手づくりの作品も飾って、その人らしく落ち着いて暮らせる環境づくりがなされている。各居室からは隣接の保育所の元気な子供たちの声が聞こえ、遊ぶ姿を目で追って楽しんでいる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者の安全を考え、自立支援を目的とし、廊下やトイレ内、脱衣所浴室の手すりやグリップの安定等、必要に応じて居室内の手すりやベッドへの介助カパーの設置、用意をしている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない